

# 臨床医学分野における雑誌インパクトの動向分析

児玉 閱<sup>1)2)</sup>、小野寺 夏生<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>杏林大学医学図書館、<sup>2)</sup>筑波大学大学院図書館情報メディア研究科

## I. はじめに

第 22 回医学情報サービス研究大会で行った発表の中で、自然科学分野全体のインパクトファクターを算出し、その値が上昇していることを示した。しかしこの結果は、すべてのカテゴリーで等しくいえることではない。インパクトの上昇に貢献しているカテゴリーがあれば、貢献していないものもあることは想像できよう。そこで今回は自然科学分野のひとつである臨床医学分野に焦点を当て、雑誌インパクトの動向を分析する。分析では、自然科学全体の動向とも比較する。

## II. 対象と方法

1998～2004 年の Journal Citation Reports SCI 版 (Thomson Scientific) に毎年同じタイトルで登場する臨床医学分野の雑誌 955 誌を対象とした。臨床医学分野のインパクトは、955 誌の被引用数の合計を 955 誌の論文数の合計で割って求めた。

## III. 結果と考察

臨床医学分野のインパクト (CMIF) は、1998 年の 2.402 から 2004 年の 3.023 へ約 25% 上昇していた (図 1)。その間の年もいずれも前年より上がっている。自然科学全体のインパクト (SIF) と比較すると、臨床医学のインパクトは総じて 0.5 ポイントほど高い。両者のインパクトはほぼ平行しているように見えるが、インパクトの増加率は臨床医学の方がわずかながら高い。インパクト算出に使われる被引用数と論文数の増加率について双方を比べたところ、臨床医学は自然科学全体に比べ、論文数の増加率は低く、被引用数の増加率は高いという傾向があることがわかった。

## IV. 結論

臨床医学分野は自然科学全体の平均からみて、論文数の増加は少ないが引用は増えていることでインパクトが上昇していることがわかった。臨床医学分野は、自然科学全体のインパクトの上昇に大きく貢献している分野といえる。

